

増えています

野菜を導入し女性が活躍する農業法人

～ トマト、ピーマンの取組事例 ～

日野郡内の農業法人は、担い手が不足する地域農業の継続発展に大きな役割を果たしています。これらの法人は、これまで水稲中心の経営をしてきましたが、更なる収益確保や女性の活躍の場として、新たに野菜栽培に取組む法人が増えてきましたので、その一例を紹介します。

今後も、このような新しい取組が広がっていくことを期待しています。

（農）ファーム白谷（トマト）日南町白谷集落

平成26年に設立された同法人は、水田のほ場整備をきっかけに本年から10.5aでトマトの栽培を本格的に開始しました。栽培管理は集落内の女性11名が中心ですが、大半の方が、トマト栽培の経験がなく最初は2aの試作からスタートしました。

中には難しい作業もありましたが、作業工程ごとに、普及員が解説しながら指導の様子をスマートフォンで撮影してメンバーで共有したり、作業状況をノートに詳細に記録して振り返りができるよう整理するなど独自の工夫をしながら、不安を一つ一つ解消し、的確な作業や積極的な技術習得に取り組んでいます。栽培が進むにつれてメンバーの笑顔も増え、トマトづくりにやりがいを感じている様子がうかがわれます。



ファーム白谷の女性メンバー

（農）かがやき（ピーマン）江府町杉谷集落

今年度、鳥取県の優秀集落営農組織部門で知事表彰を受賞した同法人では、令和元年度から女性や高齢者も取組みやすい品目として普及所が推進しているピーマンを導入しました。経営の中で、水稲やソバの栽培管理は男性メンバーが担い、ピーマン栽培は女性リーダーを中心に地域の女性労働力をフル活用し、人の配置や栽培スケジュールを細かく管理しているのが大きな特徴です。

当初、リーダーの女性は責任を担うことに不安を抱えていましたが、普及所による勉強会や先進地視察への参加によって、徐々にメンバーをまとめられるようになった結果、栽培初年度から高収量をあげ、3年目となる本年は植付本数をこれまでの2倍となる1600本（約26a）に増やしました。効率よく作業ができるようになり、一人一人に自信が増えています。



ピーマンの出荷作業を担う女性メンバー

女性リーダーは、「収益性だけでなく、集落の女性が集まる場としてもピーマンを栽培する意義がある」と実感されており、今後、更なる発展が期待されています。

また、江府町の（農）すがさきが、この法人の取組を参考に新たにピーマン栽培を始めたほか、町が、法人を対象にピーマン栽培指導会を開催するなど、新たな動きが出始めています。

鳥取県畜産共進会（和種種牛の部）が開催されました

令和3年度鳥取県畜産共進会（和種種牛の部）が10月2日（土）に琴浦町の中央家畜市場で開催され、のべ39頭の和牛が5部門で日頃の改良の成果を競いました。日野郡からは8月27日（金）に開催された西部畜産共進会で上位入賞した日南町の山形美智也氏と中田誠氏の牛が出品されました。

その結果、山形氏出品の「ゆい」（若雌区の3：出品数は12頭）が優等賞3席、中田氏出品の「さら」と「なおみ」（親子セット区：出品数は2セット）が首席と活躍しました。

今後も日野郡で生まれた和牛の共進会等での活躍が期待されます。

首席となった中田氏のコメント
「今後とも新しい鳥取和牛の系統造成のために頑張っていきます」



特集

日野郡の農業

令和3年度 鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰

～ 日野郡内で受賞された皆様をご紹介します ～

鳥取県農林水産業の発展を図るため、優れた技術及び経営の農林水産業者を知事表彰するものです。令和3年度は、6部門において日野郡の個人1名と2つの団体を含む42経営体・組織が表彰され、10月19日に鳥取市のとりぎん文化会館で表彰式典が行われました。

優秀集落営農組織



平成28年8月に、杉谷集落内の全戸が加入して設立しました。現在は、隣接する集落の農地も引き受け、約12.3haを経営しています。設立当初は水稲とソバのみでしたが、令和元年からは女性理事が中心となってピーマン栽培を開始したほか、水稲部門では、令和2年度から町の推進する特別栽培ブランド米「奥大山江府米」の栽培に取り組んでいます。

地域農業を活性化させるため、規模拡大や経営の多角化に取り組みながら、収穫祭や視察研修の実施など、法人活動を通じて世代を超えた交流が生まれ、地域の元気につながっています。

農事組合法人かがやき

（代表理事 川上 誠さん）（水稲、ソバ等：江府町杉谷）



未来を担う農林水産業者



石橋 弘充さん

（和牛繁殖：日南町阿毘緑）

生まれ育った阿毘緑で和牛繁殖を営むことが以前からの夢で、平成25年にUターン就農しました。平成29年に宮城県で開催された全国和牛能力共進会（5年に1度開催される和牛の全国大会）に「引き手」（牛をリードする役）として参加し、次回令和4年に鹿児島県で開催される大会に出品者として参加するために、日々頑張っています。

また、和牛ふれあい体験等を通じて、日南町の子供たちに和牛農家のことを知ってもらおうと共に、地域に根差した明るい農場を目指しています。

いきいき農林水産業組織



平成23年に、地元の農産物加工グループとして発足しました。グループのメンバーが育てたりんご等の農産物を使用し、町内外の企業や団体、個人とも連携しながら開発した加工品を町内の道の駅へ出荷するほか、香茸おこわ、ちまき、団子汁等の総菜を町内のイベントで提供しています。

総菜の味付けや材料の収穫の仕方など、地域の伝統を引き継いで作った商品は『日南町の母の味』と好評です。

取組を通じて、地域のみみんなで楽しみながら集まる場ができ、健康づくりや生きがいづくりにも繋がっています。

阿毘緑特産品開発部会

（会長 林 富実代さん）（加工品開発：日南町下阿毘緑）



蜜蜂を飼育される方へのお知らせ

蜜蜂を飼育される方（趣味の養蜂を含む）は、養蜂振興法の規定により毎年1月31日までにその年の「蜜蜂飼育届（1月1日～12月31日の飼育計画）」を県に提出する必要があります。日野郡にお住まいの方は日野振興センターに提出してください。手続き等についてご不明な点がありましたら、下記の問合せ先にご連絡ください。

